

区民生活常任委員会

番 号	令 7 ・ 4 号	受理月日	令和 7 年 4 月 28 日	付託月日	令和 7 年 5 月 19 日
件 名	米流通価格、流通量の安定化及び米を含む食料品価格（物価）高騰対策 に関する陳情 (令 7 ・ 5 号と分割付託)				
請 願 者					
紹介議員					

【要旨】

1 米の流通価格及び流通量の安定化について

- ① 世田谷区内小売店において、主食であるコメの供給量が不安定であり、価格が過去最高ともいえる 5 キロ 4,500 円に迫ろうとしている。備蓄米を含むコメはどこにあるのか？まずは小売店に安定供給、価格抑制を働きかけて頂きたい。
- ② 小売の上流とも言える JA、卸売の在庫状況を調査し、1 につながるよう行政として指導願いたい。
- ③ 大元である農水省へ自治体として陳情を行い、回答を得て頂きたい。

【内容】

2024 年夏に端を発したコメ不足は、2024 年秋の収穫が順調の為、数か月で解消の見込みと国は発表していたが、実際はコメ不足は悪化の一途をたどり、現在区内小売店では 5 キロ 4,500 円と過去最高値、昨年の 1.5 倍と高騰している。中高生を抱える世帯にはまさに打撃であり、生活を圧迫し、主食がまともに入手できず安心して生活できない状況が続いている。

国は備蓄米を放出しているが、では一体そのコメはどこにあるのか？農水省窓口へ消費者の意見として質問、意見を送付したところ、下記の信じられない回答を得た。

「現在、米は民間流通が基本となっています。価格についても需給バランスなど民間の取引環境の中で決まっていくものであり、農水省で関与できるものではないことをご理解願います。また、今回の政府備蓄米の放出は、流通の改善を目的とするものであることをご理解願います。今後とも農水省にご理解をお願い致します。」

国として無策であることが露呈した回答だった。一個人としてこれ以上の意見送付

は無駄と思われる為、生活に根差した最も身近な行政機関である区議会に陳情を行うものである。

日本人の主食であるコメがまともに入手できないなどという現状ははっきり申し上げて非常事態である。生活番組では、「芋を混ぜる」だの「パン、うどんに変更する」だの小手先の対策を述べているが、それは根本的な解決にはならない。まるで戦時中であるかのような状況は一体どうした訳か？

世田谷区議会各議員は、スーパーで米が瞬時に売れる様を直にご覧になられたらどうか？視察はされただろうか？

土日のスーパーではまず入手できない。ネットスーパー、通販は長期間欠品が続いている。平日は仕事をしているため、コメを買うには平日学校から帰宅した子供たちをスーパーに走らせ買うしかないのである。

また、コメに限らず全ての食品が値上がりしてることは周知の通りである。成長期の子供を抱える世帯には大打撃である。働き手不足による賃金上昇、輸入価格上昇、円安と密接に結びついた結果ではあり、物価上昇の要因は一つではなく複雑であることは理解はしているが、生活が苦しいのは非課税世帯のみではない。むしろ、私は世田谷に居を構えてから個人として少くない金額の税金を納め続けてきた。このような際には是非区として救済措置を願いたい。

現状は安心して日々の生活を送れる状況になることをここに再度申し上げたい。